

樽前山

1 概況

A 火口および B 噴気孔群では高温の状態が継続しています。この期間、顕著な地震の増加はありませんでした。

2 地震活動の状況

地震回数は 1 日あたり 0~5 回で推移し、顕著な地震の増加はありませんでした。震源は山頂火口原直下の浅いところ(海拔前後)と推定されます。火山性微動は観測されていません。

月別地震・微動回数(C点)

2002~2003年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	50	40	25	36	32	64	35	64	51	90	60	39
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

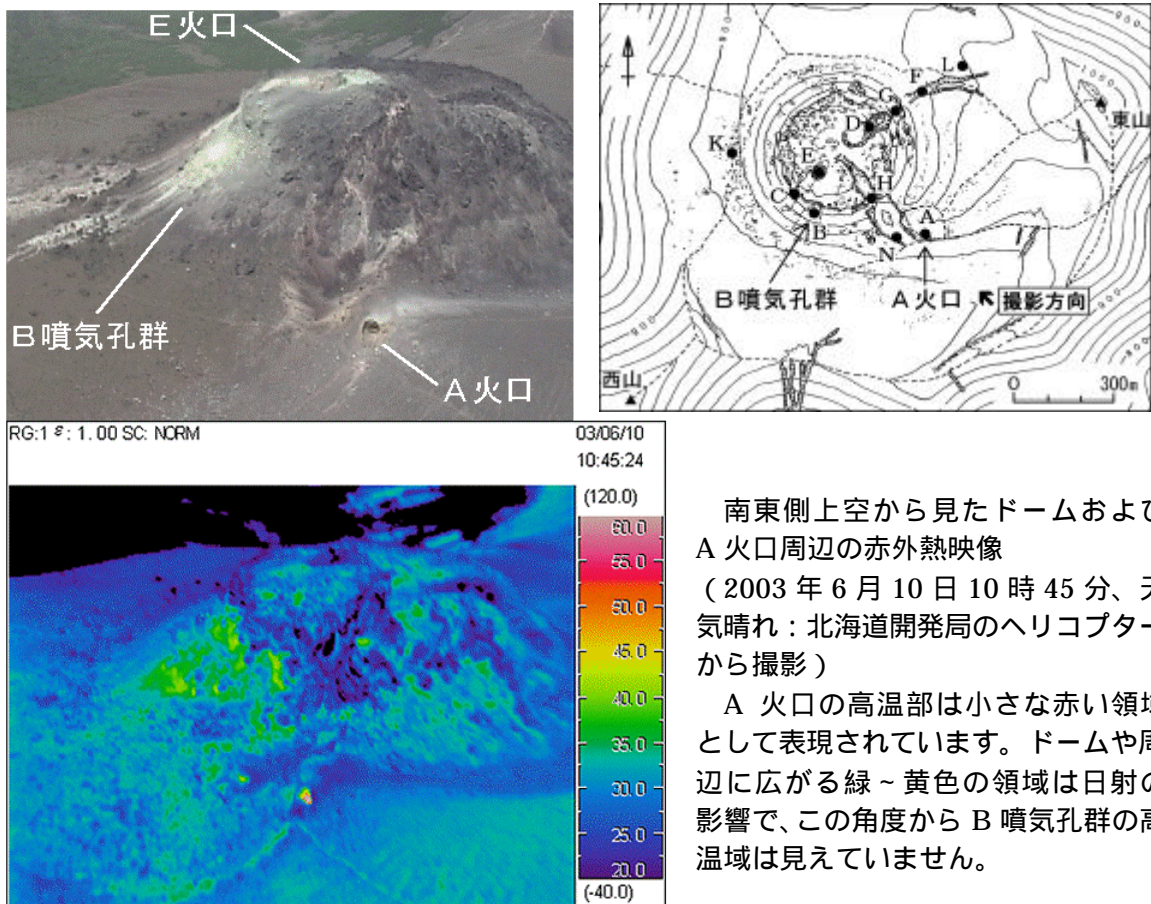
3 噴煙活動の状況

A 火口、B 噴気孔群および E 火口の噴煙は概ね 50m 以下で推移しました。いずれも勢いは弱く静穏に経過しました。

4 上空からの観測結果

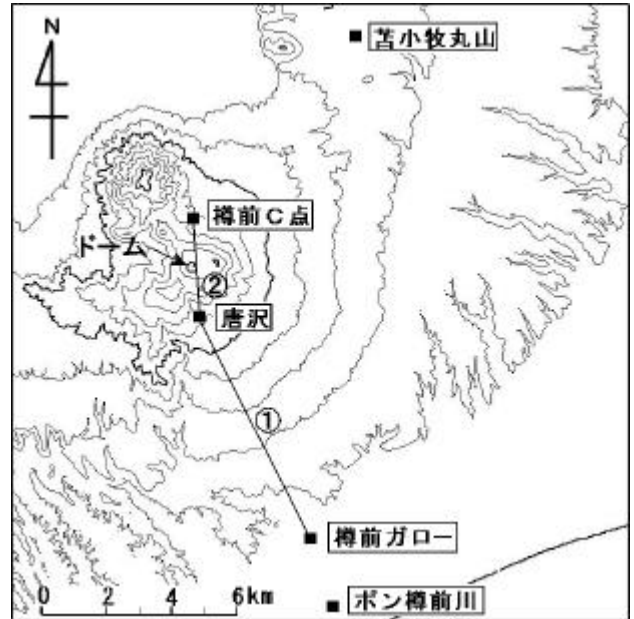
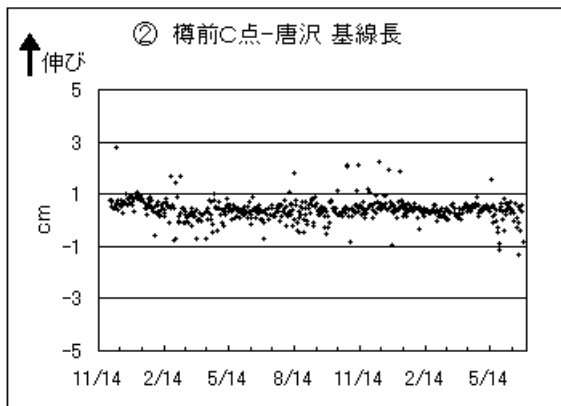
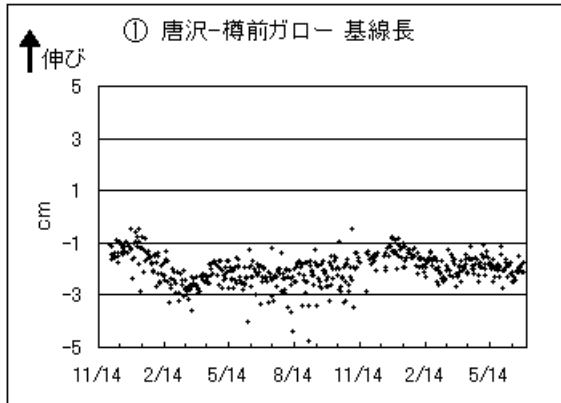
6 月 10 日に北海道開発局の協力により実施した上空からの観測では、A 火口からやや青みを帯びた白色の噴煙が上がっており、赤外熱映像観測で高温の状態が確認できました。

また、B 噴気孔群では弱いながら明瞭な噴気が認められ、高温域も確認できたほか、E 火口などからもごく弱い噴気が上がっていましたが、その状況に変化はありませんでした。

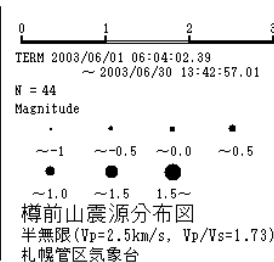
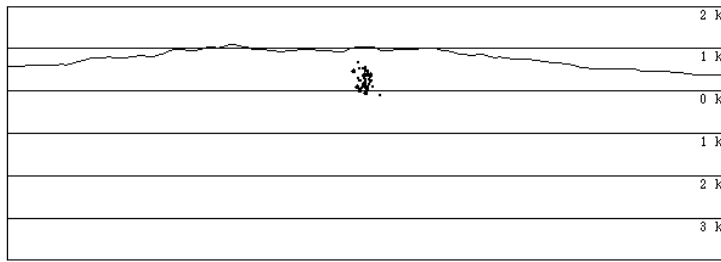
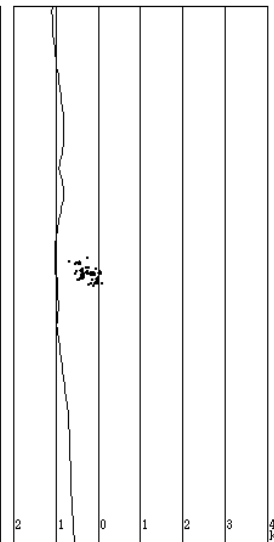
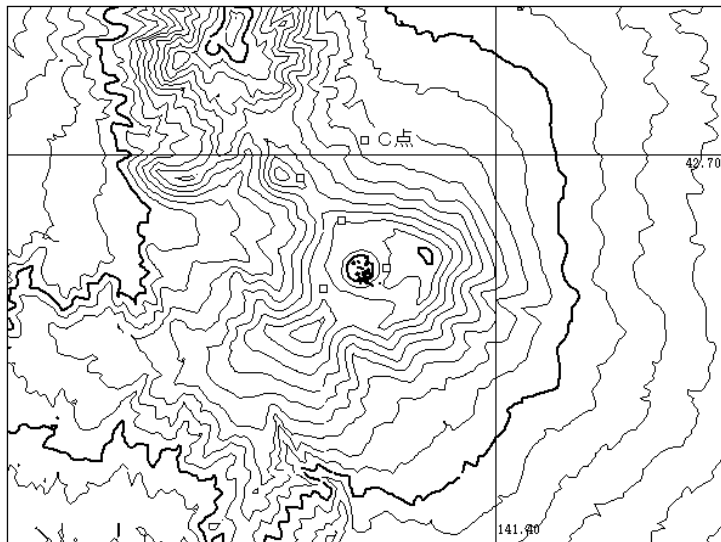


5 地殻変動の状況

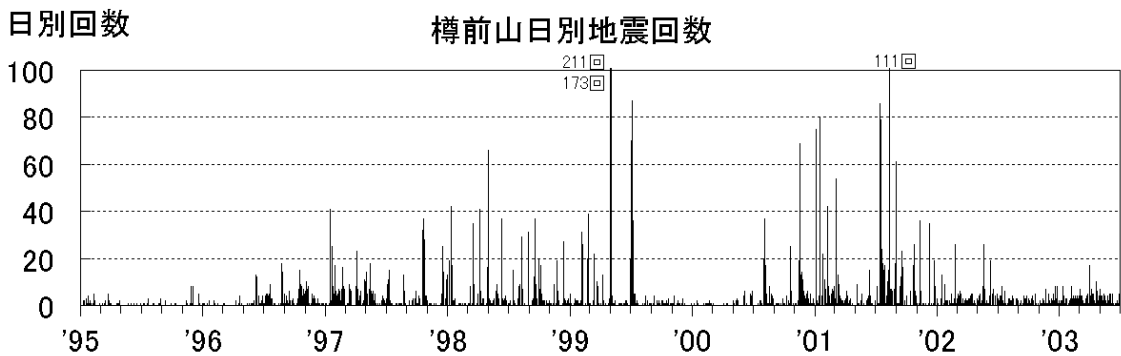
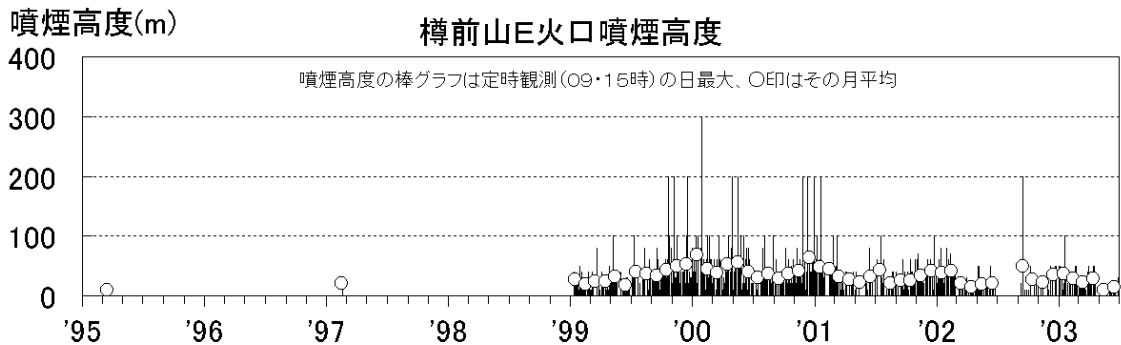
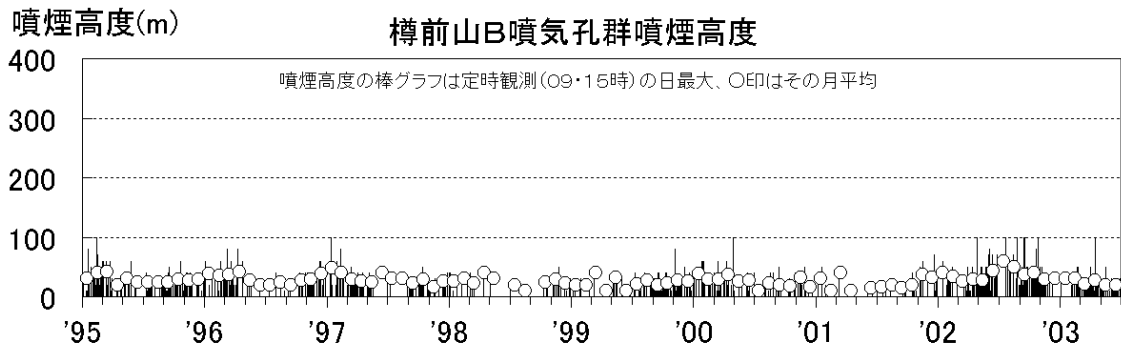
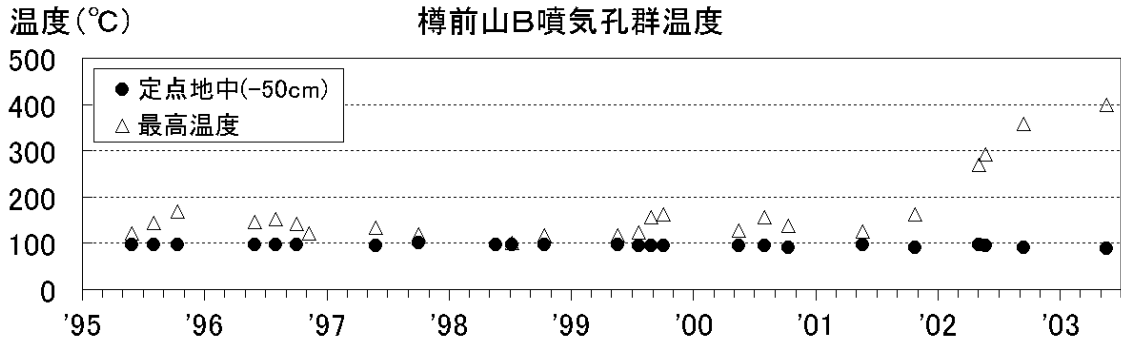
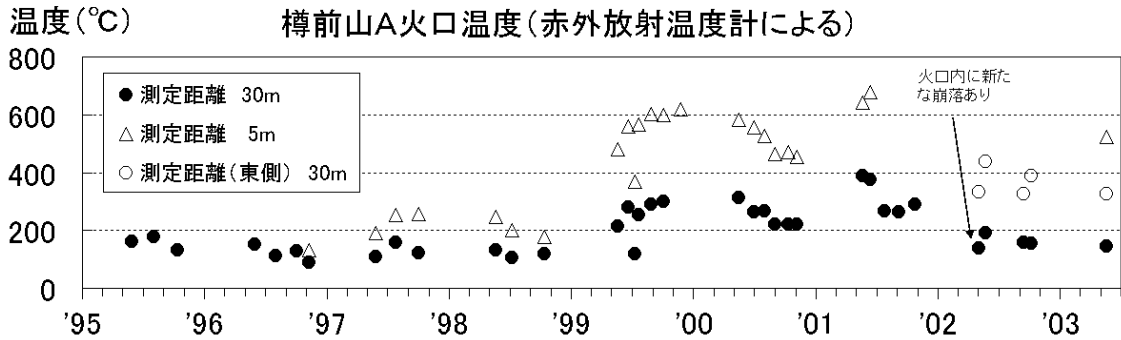
G P S 観測で見られる基線長の変化は主に季節変動が原因と推定され、火山活動に起因すると考えられる変化はありません。



樽前山基線長変化(2001年11月14日~2003年6月30日)



樽前山震源分布図(2003年6月1日~6月30日) 印は地震計



樽前山火山活動経過図(日別、1995年1月1日~2003年6月30日)